

第423号 (平成26年9月21日)

◎第465回例会 (平成26年9月21日 午後1時～)

場所：岡山衛生会館 5階 中ホール

講演

演題 「腫瘍発生母地としてのミューラー管を考える」

講師 九州大学大学院医学研究院

生殖病態生理学教授 加藤 聖子 先生

症例報告 「頸部筋腫に対する腹腔鏡下子宮全摘術の工夫」

倉敷成人病センター 中島 紗織 先生

◎第466回例会予告

日時：平成26年11月23日(日) 時間は未定
(11月の専門医会は岡山産科婦人科学会学術講演会に合流致します。)

場所：岡山大学 Junko Fukutake Hall
(岡山大学鹿田キャンパス内)

演題・講師

「女性ホルモンの働きを理解する」

千葉大学大学院医学研究院・生殖医学教授 生水 真紀夫 先生

◎保険だより

1. 淋菌及びクラミジア・トラコモティス同時核酸検出291点と細菌培養同定検査(生殖器)150点を併せて実施した場合は主たるものの算定となります。細菌性膣炎の病名があっても併算定は認められません。検査日が違えば算定できます。また、クラミジア・トラコモティス核酸検出204点と細菌培養同定検査の組み合わせの場合は算定可能です。
2. 母体搬送受け入れの場合、妊産婦緊急搬送入院可算(入院初日)7000点と、入院当日に緊急帝王切開が行われた場合、救急医療管理可算1(800点)が算定できます。切迫早産や出血の多い進行流産や重症の悪阻では2(400点)が算定できます。
3. 超低出生体重児に対し脳血管疾患、脳血管障害の病名があれば脳血管リハビリテーション料(I)245点が算定できます。
4. 妊娠初期の細胞診検査は原則公費をご利用ください。子宮頸癌が疑われる場合や妊娠継続の希望がない場合は保険請求が認められます。注記をお願いします。
5. 子宮摘出の際、卵管水腫で卵管切除を行った場合子宮附属器腫瘍摘出術として50/100で算定できます。
6. 上皮内癌ではがん診療連携拠点病院可算が算定できます。CIN3では算定できません。

◎妊産婦死亡例調査について

「妊産婦死亡例登録、調査」(妊産婦死亡とは妊娠の期間及び部位に関係なく、妊娠またはその管理に関連した、あるいはそれらによって悪化したすべての原因による妊娠中または分娩後42日以内における女性の死亡をいいます。)

死亡例発生の都度、速やかに山崎会長までご連絡下さいようお願い申し上げます。

◎おぎゃー献金について

プラスチック製の暖かみのある素敵な献金箱が出来ました。ご希望の方は当支部へお申し込み下さい。

かねてよりご協力願っております「おぎゃー献金」の入金には直接持参して下さるか、便利な中国銀行の振込用紙をご利用下さい。

(振込用紙、献金袋、受領証並びに感謝シールは当支部にあります)